

## 原文

「ポーランド王国」「ボヘミア王国」「ハンガリー王国」はカトリックを受容したため、「これらの東ヨーロッパの国々の多くは…ギリシア正教を受け入れ」という表記は東ヨーロッパの宗教分布について誤解

するおそれのある表現である。

西に進んでエルベ川以東に定住した西スラヴ族は…ポーランド王国、ボヘミア王国…ハンガリー王国をたてた。

スラヴ人のなかで…キエフ公国…支配をうけた。

これらの東ヨーロッパの国々の多くは、10世紀以降、ギリシア正教を受け入れ、ビザンツ帝国の政治的・文化的影響<sup>えいきょう</sup>をうけた。こうして、この地域にはカトリックの影響をうけた西ヨーロッパと異なる独自の歴史的世界が形成された。

## 修正文

西に進んでエルベ川以東に定住した西スラヴ族は…ポーランド王国、ボヘミア王国…ハンガリー王国をたてた。

スラヴ人のなかで…キエフ公国…支配をうけた。

東ヨーロッパの住民のなかで、西スラヴ族やクロアチア・マジャール人はカトリックを受け入れた。一方、東スラヴ族やセルビア人、ブルガール人などはギリシア正教に改宗し、ビザンツ帝国の政治的・文化的影響<sup>えいきょう</sup>をうけた。